

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

June / 9 / 2017 # 51

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『オペラ』

[2] Pepeのひとりごと

『レッスンも好きです』

[3] おすすめ動画

『Windy City Heartbreak - Glenn Van Looy』

『Achilles Liarmakopoulos plays Trombonsillo by Carolina Calvache』

[4] 演奏のヒント！

『タンギングの練習 Part 2』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『オペラ』

今年度はオペラの公演がとても多くなっています（中にはTromboneの出番のない曲もあるのですが。笑）。

今も、オペラ公演の準備をしている最中です。 ;)

オペラのとくに、オーケストラはオーケストラ・ピット

（ステージ手前の半地下のようなところにオーケストラが演奏する場所があるんです）で演奏をするのですが、ステージの上で

演奏するのとはいろいろと違いがあります。

オペラの曲の中での役割の違いと、ステージ上とピット内との違いの両方があるのですが、多くの場合、オペラでの演奏には、ステージ上での演奏とは少し違った演奏の仕方があります。

僕は、これまで運良く何人かの歌劇場オーケストラの奏者からのレッスンを受けることができて、そういうことも学ぶことができました。:)

日本には残念ながらパリのオペラ座などのような歌劇場専属のオーケストラ（クラシック・オペラ専門の）がないためそういう奏者がいなく、そういうレッスンを受ける機会もほとんどありません。

僕のできることのひとつとして、そういうことも少しずつ次の世代へと引き継いでいきたいなあ、と思っています（もちろん、僕もこれから学ぶ機会を作っているいろいろと勉強していくつもりですよ！！）。

[2] Pepeのひとりごと

『レッスンも好きです』

数か月前から、嬉しいことにいろいろなつながりからEuphoniumでのレッスンが増えています。

Tromboneでのレッスン（学校などでの吹奏楽のレッスン以外）は今のところ機会がないので、今はTromboneで演奏活動をして、Euphoniumで後進の指導にあたっている、というような状況です。

演奏も大好きなのですが、レッスンも同じくらいやりがいを感じていて好きなので、これからはTromboneのレッスンの機会も増えていけばなあ、と思っています。

アマチュアの方や初心者の方ほど、プロからのレッスンを受けることに対して大きな壁を感じているようです（ある程度は仕方のないことなのかもしれませんが。笑）。

でも、僕の意見としては、専門的な教育（レッスン）を受けないで今まできている人ほど、一度しっかりとしたレッスンを受けるといいと思っています。

きっと、これまで演奏上のことで諦めていたことや、できないことを自分の実力不足だと思っていた人ほど、ふっと楽になったり、

できなかったことができるようになったりしますよ！：)

最初はいろいろな緊張や恥ずかしさ（？）があるかもしれませんが、一度勇気を振り絞ってレッスンを受けてみるといいですよ。僕の場合は、個人レッスンでもグループレッスンでもいつでもお引き受けしますし、見学の方がいらしても全く問題ありません。どなたにでも、興味のある方にはレッスンをやっています。

少しでも興味のある人は、ぜひ気軽に連絡くださいね！：)

[3] おすすめ動画

『Windy City Heartbreak - Glenn Van Looy』

<https://www.youtube.com/watch?v=SUgxmMnmKUc&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=7>

今月1つ目の動画は、久しぶりにEuphoniumの動画を！：D
ベルギーのEuphoniumソリスト、Glenn（van Looy氏）の最近の演奏です。
僕が強く刺激を受ける若いプレイヤーの中でも特に印象が強いのがGlennです。

こうして他の国にいても、いろいろと刺激を受けるプレイヤーの演奏を聴くことができるのは、本当にいいですね！！；)

『Achilles Liarmakopoulos plays Trombonsillo by Carolina Calvache』

<https://www.youtube.com/watch?v=gqovLihFO4Y&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2>

2つ目の動画はまたTromboneです。：)
これは、Achilles（Liarmakopoulos氏）の新しい曲の動画です。
Achillesとは、2008年（たしか・・・笑）のスペインであったソロのコンクールで出会いました。
その時の彼の演奏が僕はすごく好きで、話しかけたのが最初です（笑）。

その数年後、新しいカナディアン・ブラスのTrombone奏者として彼が出てのを見てすごく驚いたと同時に、嬉しかったことをよく覚えています！：D

この曲、きれいでいい感じなので、早速リンク先で購入しました！
機会があればどこで演奏したいなあ、と思ってます！！；)

[4] 演奏のヒント！

『タンギングの練習 Part 2』

先月に続いて、今月もタンギングの練習について。

タンギング練習のとき、みなさん最後の音はどうしてますか？
伸ばす人（もしくは、最後の音だけ少し長めに吹く人）が多いのではないかなあ、と思うのですが、どうですか？？

そのようにしていると、意外と細かいタンギングが続いた最後の方の音が平らになってきちゃうことがあると思うんです（そんなこと、ありませんか？）。

そこで、タンギング練習の時の最後の音を長くしないで練習してみてください。

16分音符でタンギングをする場合、最後の音も16分音符の音価で。あとメトロノームを使って練習をすると思うのですが、最後の音は拍（もしくは小節）の頭の音にしないようにしてみてください。
＊4/4拍子でいうと、16分音符を16個（4拍分）だけ吹く、ということです。

気にしてみるとすぐにわかると思うのですが、最後の16分音符の長さが長くなっていませんか？
最後の音が長くなってしまわないように、吹き終わった次の拍を完全に無音状態にするように練習してみてください。

これができるように（最後にかけて遅くなったりしていない状態）になると、本当にタンギングがコントロールできるようになった（そのテンポで吹けるようになった）ということだと思います。

こういうことに気をつけてみると、意外と自分のできていないことが別の視点から見えてきたりします。：)

ゆっくりのテンポから、こういうことにも気をつけて少しずつ練習してみてくださいね！

編集後記

一時期ものすごく暑い日が数日続きましたが、その後は暑さも落ち着いて過ごしやすい日が続きましたね。
僕の住んでいる近畿地方も梅雨入りしたようですが、今日は朝から

とってもいい天気です！！:D

今月は動画紹介のところで久しぶりに Euphoniumの動画を紹介しましたが、やっぱり世の中にはTromboneの動画のほうが多いのでしょうかねえ？
動画紹介のところでの動画も、どうしてもTromboneのものが多くなっているようです。

世の中にはやっぱりTromboneの動画のほうが多いのでしょうかね（演奏者の総人口も含めて）。・・・Tromboneの動画の紹介が多くなってしまうことのいいわけ??（笑）

今月の「ひとりごと」のところで書いたレッスンですが、興味のある方は、気軽にメールで問い合わせてくださいね！（メールアドレスは下記にあります）

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>